

2008.7.26

## JCI「混和材料から見た収縮ひび割れ低減と耐久性改善に関する研究委員会」

## 第1回委員会 議事録

- ・日時：平成20年7月10日 16:00-18:00
- ・場所：福岡サンパレス 第2会議室
- ・出席者：名和委員長，山田幹事長，久田主査，閑田主査，石川主査，檀幹事、石川（雅）  
谷村、浅本、大谷、丸山、佐伯、兼松、野々目、陣内、臼井、福留、廣島、  
小田部、中山、竹田（敬称略）
- ・資料：1-1 2008年度 新規専門委員会  
1-2 研究委員会・研究課題申込書（平成20年度）  
1-3 委員名簿  
1-4 第2回幹事会議事録（案）  
1-5 WG1（品質・性能（ひび割れ））活動方針  
1-6 WG2（品質・性能（耐久性））活動方針  
1-7 WG3（規格・施工）活動方針  
1-8 WG4（データベース・利用方法）活動方針

## ・議 事

## 1．委員長挨拶

- ・委員会の目的は下記とする。

混和材の使用がコンクリートのひび割れ、耐久性に及ぼす影響の把握

混和材に使用による総合的な耐久性改善策の設計・施工へのフィードバック

## 2．活動方針

- ・下記の4WGを設置し、検討を進める。

WG1（品質・性能（ひび割れ））：閑田主査

WG2（品質・性能（耐久性））：山田幹事長

WG3（規格・施工）活動方針：久田主査

WG4（データベース・利用方法）：石川主査

- ・山田幹事長より、予算は150万円（1年目）、200万円（2年目）であることが説明された。
- ・検討対象は基本的に混和材とする。高性能AE減水剤との相性等を考慮する必要もある。
- ・幹事会議事録（資料1-4）の説明が檀幹事よりなされた。

### 3. 各 WG の活動方針案の説明

#### (1)WG1 ( 関田主査 )

- ・ 混和材料を用いたコンクリートの収縮ひび割れ抵抗性能の評価を行う。
- ・ 文献調査、実験（収縮拘束ひび割れ実験）解析を行う。
- ・ 寒冷地における混合セメントの使用については、日鉄セメントの実験データがある。
- ・ 名和委員長より、高炉セメント B 種、フライアッシュセメントを用いたコンクリートの拘束ひび割れ試験結果の紹介がなされた。

#### (2)WG2 ( 山田幹事長 )

- ・ 混和材料の組合せ効果、混和材料の評価方法の検討、試験方法案の提案を行う
- ・ 高炉スラグ使用コンクリートの蒸気養生が強度へ及ぼす影響について検討する。
- ・ 細孔構造の解明が必要。

#### (3)WG3 ( 久田主査 )

- ・ 規格の取りまとめと将来の規格のあり方について検討する。
- ・ 初期養生が強度、耐久性に及ぼす影響について検討する。
- ・ 各学会の多くの委員会で検討されているため、まず既往の研究の調査、整理を行う。

#### (4)WG4 ( 石川主査 )

- ・ 本四、ランドマークタワーなど国内、国外での 3 成分系セメントの事例を調査する。
- ・ 混和材使用セメントの施工事例と使用目的を調べる。
- ・ 海外の基準、指針を調査し、国内での使用が可能であるか検討する。例えば、環境対策などについて。

### 4. 委員紹介

委員の自己紹介と担当 WG の確認を行った。

### 5. 委員会ホームページ

委員会のホームページの作成を浅本先生にご担当いただく。

### 6. 次回委員会

次回委員会の開催は下記とする。

9月25日(木) 13:00~17:00 JCI 会議室

以上  
(記録：竹田)